

# LASER World of PHOTONICS

# ファイナルレポート

第 23 回国際レーザー・オプトエレクトロニクス応用技術 システム・ アプリケーション専門見本市 / 国際会議 2017 年 6 月 26 日~29 日 / ドイツ・ミュンヘン見本市会場

2017年6月29日

# 技術進歩の鍵はフォトニクス

## Summary

- 記録的な出展社数、来場者数
- 若き才能が集う業界のショーケース
- フォトニクス国際会議: 約3,500人の参加者がフォトニクスの 進むべき未来を指し示す

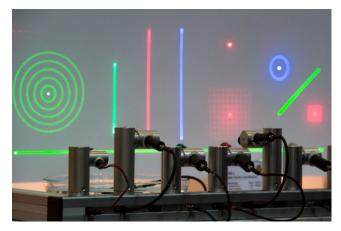


### Facts & Data

会 期	2017年6月26日(月)~29(木)
	午前9時~午後5時(最終日のみ午後4時まで)
会場	ドイツ・ミュンヘン見本市会場
主催	メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH)
規模	全 5 ホール 約 55,000 ㎡
出 展 企 業	1,293 社 (2015 年: 42 ヶ国から 1,227 社)
来場者総数	約 32,000 人 (2015 年: 72ヶ国から 31,279 人)
専 門 分 野	レーザー・オプトロニクス、光学、光学製造技術、センサー・測定技術、生産技術、光学測定システム、医療技術・バイオテクノロジー、イメージング、イルミネーション
主な出展品	レーザー・オプトロニクス、オプティクス、光学製造技術、センサー・試験測定・測定
	システム、イメージング、レーザー・レーザーシステム製造技術、光学情報技術・光
	通信、バイオフォトニクス・メディカルエンジニアリング、イルミネーション・エネル
	ギー、セキュリティ など
専用 URL	www.world-of-photonics.com (英語 / ドイツ語)

6月26日から29日にかけてドイツ・ミュンヘンで開催されたLASER World of PHOTONICSは、世界をリードするフォトニクス見本市として卓越した地位を証明して見せた。1,293社の出展社が約32,000人の来場者に製品を紹介し、出展社数、来場者数ともに同見本市の記録を塗り替えた。

また、支援プログラムでは、将来のフォトニクス応用分野における洞察が数多く提供された。そして、6月25日から29日にかけてICM(ミュンヘン国際会議センター)で開催されたフォトニクス国際会議では、ポール・ヒルトン博士やフェデリコ・カパッソ博士など著名な研究者による講演が行われた。



メッセ・ミュンヘン社長のラインハルト・ファイファーは次のようにまとめている。「全自動運転や医療の診断法などの技術進歩はフォトニクスに基づいており、LASER World of PHOTONICS は多くの企業が適切なイノベーションを紹介している場所だ。世界の光学技術業界において LASER World of PHOTONICS が重要視されているのは、同イベントの国際色が豊かになっていることにも反映されている」

例えば、1,293 社の出展者のうち 800 社は、海外からの出展だったこと、来場者と会議参加者の 60%はドイツ 国外から訪れていたことなどが挙げられる。そして、出展社から得た同市場の評価は、非常に良い~良いという ものだった。

このような事実は展示会場に良い雰囲気をもたらした。

Toptica Photonics 社役員および LASER World of PHOTONICS 諮問委員会会長であるヴィルヘルム・ケンデルス氏は次のように述べている。「LASER World of PHOTONICS は、顧客や競合他社と意見交換し、当社の将来の戦略を明確にする「市場」としての役割を果たしている。特に、量子技術は最近急激な伸びを見せている」

#### 数字で見る LASER World of PHOTONICS 2017

見本市は記録的な来場者数とともに幕を閉じた。ミュンヘンを訪れた90カ国から32,000人以上のビジネス来場者は、LASER World of PHOTONICS のラインナップに非常に満足した。市場調査会社 Gelszus Messe-Marktforschungの行った調査によると、来場者の99%が見本市を最高に良い~良いと評価しており、その大半が同見本市の重要性は今後も増し続けると考えていることが明らかとなった。

ドイツに続き、来場者数の多い国の上位はフランス、イギリス、日本、スイス、米国の順であった。

世界をリードするこのフォトニクス見本市に出展したのは 42 か国から 1,293 社で、この数は前回開催時から 5.4%増加している。出展社数の伸びは国内外で見られた。



#### 力強い成長を見せるセンサー部門

センサー展示エリアは大幅に拡大しており、カメラシステムや非接触光学計測技術と同様、軽くて緻密な制御が可能なツールが未来の生産プロセスを支えていることが明らかとなった。TRUMPF 社の副社長ペーター・ライビンガー氏は、インダストリー4.0で「工場、IT、クラウドとサプライヤーの間をつなぐもの」としてセンサーの重要性を認識している。



#### 初イベントの Make Light MAKEATHON が大成功

BMBF(ドイツ連邦教育研究省)の Make Light 構想と協力して開催された 初イベントの Make Light MAKEATHON は、大勢の観客を引き付けた。例 えば、光学式センサーシステムで大気汚染や物が燃える匂いを感知する ことができる芝刈り機サイズのロボット「スモッグドッグ」など、わずか 24 時間で79人の学生と若手技術者が堂々たる名前のハードウェアプロトタイプを開発した。

BMBF(ドイツ連邦教育研究省)の量子技術・フォトニクス課長のフランク・シュリエ氏は、このコンテストの重要性について次のように述べている。「ドイツはフォトニクスにおいて長い伝統を持ち、優れた企業のおかげで、多くの分野において世界をリードしている。こうした優れた企業が成長できるようにするには、アイデアを持った人材や、業界に吹き込む新たな風が必要だ。メイク・ライト構想の目標は、才能ある若者がフォトニクスにアクセスしやすくすることだ。我々は、技術分野で働くことに関心があるけれどもこれまでフォトニクスを考えていなかったという人々に対して特に接触を図ろうとしている」

Make Light MAKEATHON、スタートアップワールドそしてフォトニクス アワードでは、業界の才能ある若者にとって重要なプラットフォームとなっている。若い起業家の革新的能力もここでより明らかになった。

#### 豊富な支援プログラム、強力な会議

見本市の支援プログラムでは、若き才能にのみならず、何よりもノウハウの伝授に焦点が当てられた。また来場者に向けてガイド付きツアーが初めて企画され、参加者はツアー中に未来の話題に関して知ることが出来た。「e モビリティのためのレーザ技術」のガイドツアーは特に人気があった。特別ショー「フォトニクス・イン・プロダクション」では、高強度鋼の溶接などのライブ・デモンストレーションだけでなく、フォトニクス業界の熟練スピーカーとの応用パネルディスカッションなどが行われ、来場者に好評であった。

フォトニクス研究サミットでは、最高レベルのナレッジ・トランスファーが行われた。世界フォトニクス会議で開催された7つの会議には、少なくとも3,500人の参加者が出席した。初開催の「デジタル・オプティカル・テクノロジー

ズ」カンファレンス参加者は、MR(複合現実感)、AR (拡張現実)、VR(仮想現実)応用について知ることができた。「体験セッション」の参加者は、科学と実践を組み合わせ、関連デバイスを試すことができた。また、Robert Bosch 社など業界企業からの貢献による「量子技術に関する産業的観点」と題された講演は、現実世界とのギャップを埋めてくれた。その内容は、欧州は世界最先端の技術者、企業、研究機関によって、量子技術をリードしているというものだ。

さらに、世界フォトニクス会議における Herber Walther 賞の授与式は、再びプログラムのハイライトとなった。

同賞は 10 年以上に渡り授与されており、今年はヒューストン/テキサスのライス大学の米実験物理学者、ランドール・フレット教授に授与される。

次回の LASER World of PHOTONICS は 2019 年 6 月 24 日から 27 日、次回のフォトニクス国際会議は 2019 年 6 月 23 日から 27 日にかけて開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.world-of-photonics.com まで。

#### LASER World of Photonics 2017 主な日系出展社(50 音順)

(株)アートレイ、暁明技術(株)、朝日分光(株)、(株)アソー、アダマンド(株)、(株)彩世、五鈴精工硝子(株)、ウシオ オプトセミコンダクター(株)、NTT アドバンステクノロジ(株)、NTT エレクトロニクス(株)、オーテックス(株)、(有)岡本光学加工所、(株)オキサイド、(株) オハラ、(株)オプトロニクス社、(有)オルサ、(株)キーエンス、キヤノン(株)、(株)QDレーザ、(株)清原光学、(株)金門光波、国立研究開発法人科学技術振興機(ImPACT)、湖北工業(株)、santec(株)、シグマ光機(株)、(株)島津製作所、ジェトロ浜松、住友電気工業(株)、(株)清和光学製作所、(株)TAKシステムイニシアティブ、(株)テクニスコ、テクノハンズ(株)、(株)ディスコ、東ソー・クォーツ(株)、東洋製罐グループホールディングス(株)、DOWAホールディングス(株)、豊田合成(株)、夏目光学(株)、(株)ナノプロセス、(株)ニコン、日亜化学工業(株)、日機装技研(株)、日本特殊光学樹脂(株)、(株)バイコウスキージャパン、(株)バギテック、パナソニック(株)、浜松ホトニクス(株)、パルステック工業(株)、(株)日立ハイテクノロジーズ、平河ヒューテック(株)、(株)フジクラ、フラクシ(株)、古河電気工業(株)、プレキシオン(株)、HOYA CANDEO OPTRONICS (株)、(株)堀場製作所、三菱電線工業(株)、(株)山寿セラミックス、横河電機(株)、(株) ルケオ、(株) ロゴス 他





#### 資料請求、各種お問合せ先:メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎の門 5 階

Tel.: 03-6402- 4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)